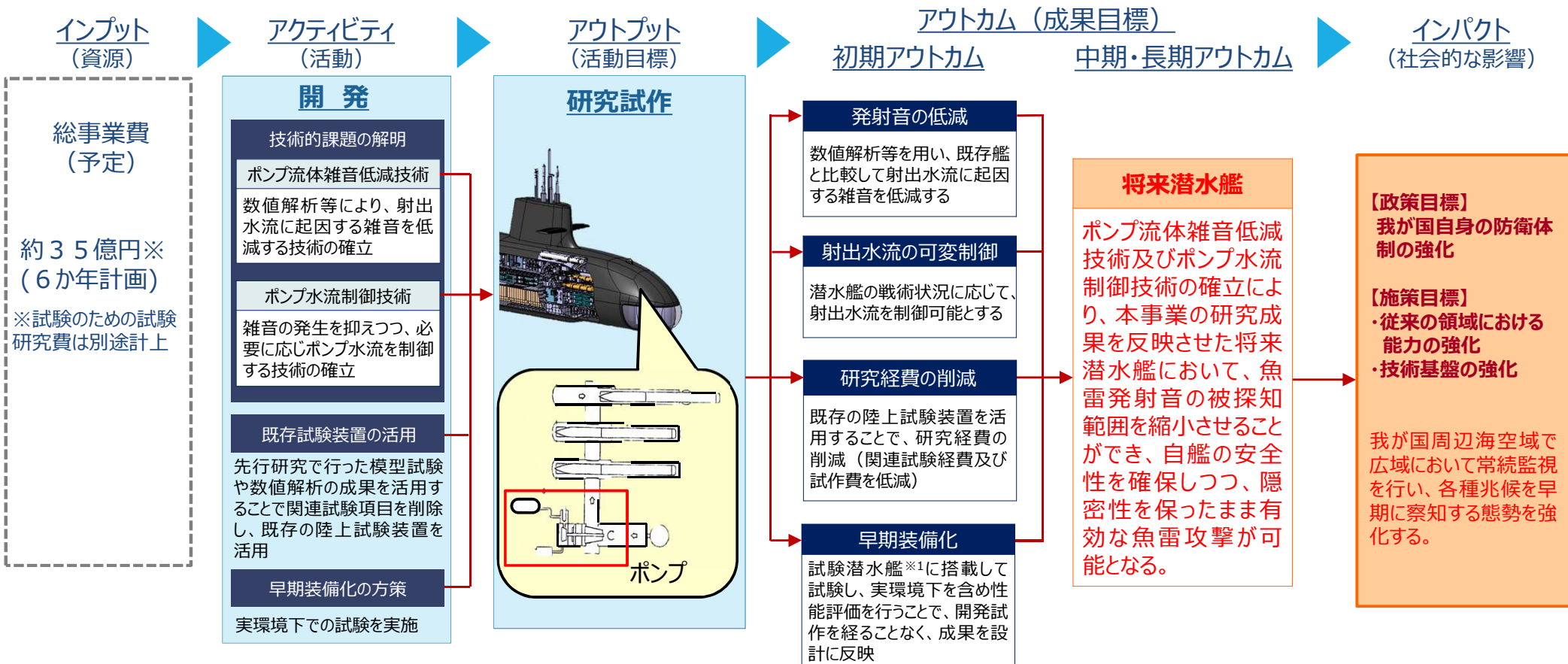


流体雑音低減型水中発射管構成要素の研究試作

魚雷等を射出する際の発射音を敵に察知され、早期回避による攻撃効果の低減及び敵からの反撃を防止するため、水中発射管の構成要素について研究し、発射音の低減について検証することにより、潜水艦の静粛化設計に反映する技術を確立する。

現状・課題

魚雷そのものの静粛化が進んでいる一方、射出時に発射管から出る発射音については静粛化が進んでいないため、射出音が探知されることで早期に回避行動をとられて攻撃の成功率が低くなっているとともに、潜水艦の存在域を特定されるリスクが高まっている。



＜開発実施線表＞

年度	令和3	4	5	6	7	8
実施内容		本事業 (研究試作)				
		試験				

総合評価

我が国周辺国の潜水艦のソーナー探知能力及び静粛性の向上に伴い、敵国艦艇の早期回避による我が国潜水艦の攻撃効果の低減及び敵からの反撃を防止するため、魚雷を射出する際の発射音を低減する必要性は理解できる。また、既存試験装置の使用、先行研究の成果の活用及び効率的な試験の実施に努めており、本事業に着手することは妥当であると判断する。